

アジアと関西を結ぶ日本海側ゲートウエーをめざせ
—— 京都舞鶴港振興のための提言書 ——

平成23年12月27日

社団法人 京都経済同友会

北部部会

まえがき

京都舞鶴港が国際フェリー、国際海上コンテナ、外海クルーズなどの役割を担う港湾として国土交通省から日本海側拠点港の1つに選ばれた。

全国15都道府県から19港が選定され、京都舞鶴港は14港ある「機能別拠点港」の1つとなった。

今後、海外との貿易や観光客誘客の拡大につながる国や京都府のインフラ整備などに期待が集まるが、成長著しい東アジアと関西を結ぶ日本海側ゲートウエーとしての道筋は緒に就いたばかりともいえる。

私たち京都経済同友会は、京都舞鶴港振興を府北部活性化の柱の1つに位置付け、昭和61（1986）年に設置した北部部会を中心に舞鶴港問題を調査・研究してきた。京都舞鶴港が成長著しいアジアと関西を結ぶゲートウエーとして、また京都の海の玄関として発展するために、この提言が実現されることを強く希望する。

現状認識

今年後半に入って京都舞鶴港をめぐる対岸諸国との関係強化が急速に進んだ。京都府は7月、中国・大連市との定期貨物船航路増便や客船誘致に向けた覚書を交わしたのをはじめ同月中にロシア・ナホトカ市、韓国・浦項市とも相次いで経済交流促進の覚書を締結した。

今回の日本海側拠点港指定を受けて、府は国際フェリーと国際RORO船（トラック自走による輸送貨物船）では中国、韓国との航路を開設し、週5便の定期便を就航、観光客の呼び込みをめざす。また、国際海上コンテナでは休止中のロシア航路を再開させ、中国、韓国航路と合わせて週7便の就航を目指す。さらに外航クルーズでは、環日本海クルーズなどを誘致して、年間の寄港を14回程度に増やす計画を進める方針。

対岸諸国に近く長い歴史を持つ天然の良港であり、関西唯一の日本海側の国際貿易拠点であるというポテンシャルはあるが、専用バースなどの港湾施設や直結する高速道路網整備も十分とは言えない。

平成22（2010）年5月に5万トン級の大型貨物船が接岸できる舞鶴国際埠頭が完成。同年の取扱貨物量は1,000万トンを超えて過去最高となったが、コンテナ貨物取扱量をみると、依然目標の4割程度にとどまっている。

京都舞鶴港振興のための提言

I インフラ整備

1 港湾施設の一層の整備促進

京都府が拠点港指定直後の12月補正で、国際埠頭の荷さばきヤード拡張を予算化したのは評価できる。国と府は今後、国際フェリー専用バースの新設や岸壁の延伸など港湾整備に早期の思い切った予算配分を求めたい。

2 高速道路、港湾との取り付け道路と鉄道網の建設・整備推進

ミッシングリンクといわれる京都縦貫自動車道知一丹波間、舞鶴若狭自動車道敦賀一小浜西間などの建設促進とこれら高速道路と港湾を結ぶ取り付け道路の早期整備が欠かせない。北陸新幹線を視野に入れたJR舞鶴線の複線電化も促進すべきだ。

II 利用促進

1 京阪神などの関係業界や近隣工業団地立地企業との連携強化

港湾利用促進と地元の産業振興につながる京阪神企業、綾部・福知山などの周辺立地企業との関係強化が不可欠。荷主向けのインセンティブ周知や定期航路化に努めるべきだ。

2 中国・韓国・ロシアとの人的・物的交流の強化・促進

国際フェリーによる外国人観光誘客のため中国、韓国航路を早期開設し、定期便の就航を目指す必要がある。また物流促進のため、ロシア航路再開と中国・韓国航路の増便を実現したい。経済交流の覚書を交わした韓国・浦項市などと早期に具体的な試験航海をおこなうことが望ましい。

III 環境整備

1 地元観光地の受け入れ体制の強化

京都舞鶴港を通過点としないため、官民一体となった府北部の観光地での国際観光客受け入れ体制強化に取り組む必要がある。

2 京都府が港湾管理者である京都舞鶴港と宮津港の一体運営による「京都港」の存在感の醸成

京都舞鶴港と宮津港を合わせて「Port of Kyoto」（京都港）と位置づけ、船主向けの国際見本市「マイアミ・インターナショナル・ボートショー」などに出展して国際的な存在感をアピールしたい。

3 海上自衛隊、海上保安庁の機能・設備との共存

舞鶴港は海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上保安庁第八管区海上保安本部の拠点として、安全保障上の重要な機能を持っている。港湾整備はこれらの機能、設備との共存の視点で進めるべきだ。

4 京都の海の玄関口であるとの意識改革と新たな協議機関の設置

京都舞鶴港はアジアに向けた関西のゲートウエーであると同時に京都の海の玄関であるとの府民の意識改革が必要。府の組織も統一して「北部広域振興局」とした方がよいのではないか。また、グローバル化など新たな時代の要請や課題に対応するため、広域的な新たな協議機関の設置が求められている。

以上

あとがき

古くは北前船の寄港地として栄え、明治以降は軍港として発展してきた舞鶴

港が、国の拠点港指定を受けて「Port of Kyoto」（京都港）としての新たな飛躍の時を迎えている。

目覚ましい経済成長を続ける中国など東アジア諸国との海洋交易を視野に入れば、京都舞鶴港は府北部のみならず、京都全体にとって計り知れないほど大きなポテンシャルを持っている。また、阪神港など太平洋側港湾の代替機能を考慮すれば、日本海側に開かれた唯一の国際港であるその重要性は、関西圏にあってなおさらである。

私たちが思い描く京都舞鶴港の潜在的な可能性を大きく開花させるためには、港湾施設や道路、鉄道網などのインフラ整備、船主や荷主に対する利用促進の働きかけなど様々なハードルが横たわっている。

それらひとつひとつの課題を着実に解決しながら、「京都港」のビジョンを何としても実現したい。そんな大きな夢と希望を持って、私たちはこの提言書をまとめ上げた。京都舞鶴港振興に寄せる私たちの切実な願いが国や京都府の尽力で一日も早くかなうことを切望してやまない。

北部部会の歩み

- 昭和54～55年 河野卓男代表幹事（当時）の提唱により、京都府北部地域の振興のため亀岡以北の経済人に交流を働き掛け
- 昭和56年 1月 臨時総会を開催し、遠隔地会員制度を創設
- 昭和61年 4月 本会に「京都北部との交流推進委員会」を設置し、舞鶴市で福知山・舞鶴・綾部の3市経済人との懇談会を開催
総会で遠隔地会員の正会員化を決議、「北部部会」設置
- 平成3年 4月 舞鶴・福知山・綾部・宮津4市ほかの北部会員数が30人に
- 平成9年 3年 京都北部経済文化圏構想『「北近畿ルネッサンス」に向けての提言 —— 東アジア経済文化コリドー形成を促進する拠点地域の構築』を策定
- 平成13年 3月 『京都北部地域の観光産業の飛躍的発展を目指して』と題する提言を発表
- 平成17年 3月 京都北部地域の交通対策検討調査報告書『とっておきの魅力を高めて —— 交通ネットワークの充実を』を作成
- 平成19年 9月 丹後半島の観光動員プロジェクトとして新たな観光企画「丹後半島歴史と伝説と海の幸」を提案
- 平成20年 7月 佐藤正久参議院議員を講師に招き、舞鶴市で北部部会平成19～20年度第1回例会を開催
- 平成21年 2月 中島明彦前防衛省大臣官房審議官を講師に招き、宮津市で平成19～20年度第2回例会を開催
- 平成21年11月 小川和久国際政治・軍事アナリストらを講師に招き、宮津市で平成21～22年度第1回例会を開催
- 平成22年 9月 潮匡人国家基本問題研究所評議員らを講師に招き、福知山市で平成21～22年度第2回例会を開催
- 平成23年 2月 堀場厚堀場製作所代表取締役社長を講師に招き、宮津市で北部部会第1回経営セミナーを開催
- 平成23年 7月 柏原康夫京都銀行代表取締役会長を講師に招き、福知山市で平成23年度第1回経営セミナーを開催
- 平成23年 9月 堀田治京都府舞鶴港振興監を講師に招き、舞鶴港問題勉強会を開催

平成23年度 北部部会 委員名簿

※平成23年12月27日現在

(敬称略)

部会長

今井一雄 (株)三洋商事 代表取締役社長

副部会長

奥田省三 ふくし事業協同組合 理事長
中川幸紀 中川薬品(株) 代表取締役社長
若山貴義 美濃清商工(株) 代表取締役社長

担当幹事

赤畠貞宏 (株)関西電業社 代表取締役社長
大槻浩平 大槻ポンプ工業(株) 代表取締役社長
長谷川一彦 嵯峨野観光鉄道(株) 代表取締役社長
牧草弘師 牧草コンサルタンツ(株) 代表取締役社長
美馬芳彦 (株)ゼネック 代表取締役社長
森瀬正博 (株)京都銀行 代表取締役専務

委員

田辺親男 親友会グループ 会長
長谷幹雄 (株)長谷本社 代表取締役社長
渡部隆夫 ワタベウエディング(株) 会長
赤松徹眞 龍谷大学 学長
幾世淳紀 (株)文珠荘 取締役会長
一瀬岩雄 イチセ商事(株) 代表取締役
内田昌一 京都青果合同(株) 取締役名誉会長
大垣守弘 (株)大垣書店 代表取締役社長
岡野益巳 (株)岡野組 代表取締役社長
奥谷博俊 (株)サツマヤ奥谷 取締役営業本部長
柿野欽吾 (学)京都産業大学 理事長
勝方努 (株)両丹日日新聞社 代表取締役
勝見昭 丸近証券(株) 代表取締役社長
川端健嗣 (株)カワタキコーポレーション 代表取締役社長
岸田洋 全日本空輸(株) 京都支店 支店長
木下進 (株)進研究所 所長
久保善暉 久保商事(株) 代表取締役社長
小寺信義 ボウエイ(株) 代表取締役社長
小林正幸 (株)京都銀行 常務取締役
小山晃正 (有)小山電工 代表取締役
佐々木喜一 成基コミュニティグループ 代表兼最高経営責任者

佐藤総二郎 (株)さとう 代表取締役社長
塩見和之 (株)中庄本店 代表取締役社長
荘司敏博 日本航空(株) 京都支店 支店長
鈴鹿且久 (株)聖護院ハツ橋総本店 代表取締役社長
高見彰 (株)タカミ 代表取締役
田中慶治 (株)タナックス 代表取締役社長
谷村紘一 谷村実業(株) 代表取締役社長
土田富士治 オリックス(株) 京都支店 支店長
鳥居興彦 (株)ジェイアール西日本伊勢丹 常勤監査役
中村暢秀 (株)紅中 代表取締役社長
西井雅志 大和不動産鑑定(株) 京都支社 支社長
長谷川佐喜男 長谷川公認会計士事務所 所長
八田英二 (学)同志社 理事長
平田晃一 (株)リビングネットワーク 代表取締役
福島慶太 (株)福島文進堂 代表取締役社長
藤岡一郎 京都産業大学 学長
藤原敏治 イワモトエンジニアリング(株) 代表取締役会長
細辻伊兵衛 (株)永楽屋 代表取締役社長
細見壽彦 京都北都信用金庫 会長
松芝政雄 都証券(株) 会長
丸尾真哉 (株)JTB西日本 京都支店 取締役支店長
森正廣 六和証券(株) 代表取締役副社長
八木正利 八木(株) 代表取締役社長
山下英雄 薬師庵(株) 代表取締役社長
吉田忠嗣 吉忠(株) 代表取締役社長
八木茂 (社)京都経済同友会 常任幹事事務局長

事務局

吉川勝司 (社)京都経済同友会 事務局次長
太田喬子 (社)京都経済同友会 事務局課長代理